

## 日本海ケーブルネットワーク株式会社（NCN）

### 2023年度放送番組審議会議事録

■ 日 時：2024年2月19日（月）午後1時半～3時

■ 場 所：日本海新聞本社ビル6階会議室（鳥取市富安2丁目137番地）

■ 出席者

審議委員：河村壮一郎（会長、鳥取短期大学教授）、佐々木千代子（副会長、いんしゅう鹿野まちづくり協議会理事長）、松本縁（鳥取市企画推進部秘書課広報室室長）、仲倉慎治（倉吉市総務部企画課長）、青木大雄（三朝町企画健康課長）、出井康恵（岩美町総務課長）、藤井博美（三朝区長）、須田耕平（鳥取銀行経営統括部企画グループ調査役）、中沢政春（岩美まちづくりの会事務局長）、福田京子（地域づくりネットワーク代表）

\*役職は当日現在、敬称略、順不同

NCN：西尾広海（専務取締役）、吉田幹也（取締役）、尾崎佐和子（メディア推進部部长）、森田拓也（メディア推進部編成制作課主任）

■ 報告事項

① 2023年度の取り組みについて

レギュラー番組や特別番組など2023年4月から2024年2月までの番組制作の取り組みを報告した。

② 2024年度の取り組みについて

新年度に向けた取り組み方針を報告した。

■ 協議事項

（委員）

・「歩いてみんさい 山陰海岸ジオトレイル」は番組途中でクイズが出題されるなど、見てもらうための工夫がなされている

（委員）

・「歩いてみんさい 山陰海岸ジオトレイル」も鳥取大学との連携番組も東部なので、中部の鳥取看護大学、また来年開館する鳥取県立美術館の話題なども積極的に取り上げてほしい。

（委員）

・ジオトレイルは岩美町にもたくさん見どころがあるのでぜひ紹介してほしい。

・「トリノメセン」など、鳥取の良さをどんどんアピールしてほしい。

歩いてみようかという気分になる。楽しみにしている。

（委員）

・コロナが明けて各種イベントを展開したが、それぞれの場面でNCNが情報発信し、行動力の良さには敬意を表す。加入者の生活に役立つというのはまさにその通り。行

政としては、市民、町民が行動に資する、まちづくりに資するような内容で、一緒になって発信してもらいたいと思う

(委員)

・番組を見ていると当初よりマンネリ化しているように感じる。新しい切り口は思い浮かばないが、現状を変えるような取り組みを望む。

・トリノメセンについて、一つの集落を紹介する場合は道路に沿って名所を取り上げると良い。あちこちから紹介すると方向感覚が分からなくなる。

・ニュースでの1カットが長い。例えば園児の芋ほり体験を伝える場合、園児はいっぱいいるのだから、TVに沢山映すと話題になる。1カット何秒映すのか考えて撮影してほしい。ケーブル、民放含め島根県に負けている気がする。

・列車の運転席にカメラを取り付けて車窓の景色を撮影する方法も良いと思う

(事務局)

・確かに新しい取り組みという意味では少ないと思う。トリノメセンについても近年は地域住民に出演してもらい、案内をしてもらう演出も取り入れているが、法律が厳しくなっており、撮影場所も限られている。尺を埋めるために1カットを長くしたりする傾向は確かにある。いただいた意見は担当スタッフと一緒に改善していきたい。全体的なマンネリ化という意味では指摘された通りだと思う。新しい事を立ち上げる際はスタッフの意見を取り入れながら、やっていきたい。

(委員)

・ジオトレイルやトリノメセンも健常者が前提になっている気がする。難聴者も含め楽しめる番組づくりを。

・「自然はともだち」は質問コーナーがあると良い。双方向で番組づくりができると思う。

・コロナが明けたのでイベントももっと多く取り上げてほしい。しゃんしゃん祭りなど大イベントだけでなく、地域の祭りも人口減や高齢化で減っている。積極的に取り上げてほしい。

・災害の際はライブ映像をもっと積極的に活用を。

(委員)

・コロナが終わってイベントが増えてきている。小さなイベントも含め、地域の住民も関心が高いので、どんどん取り上げてほしい

(委員)

・NCNを見るとホッとする。マンネリかもしれないが、「自然はともだち」も、「トリノメセン」も、「山陰海岸ジオトレイル」も面白いし続けていってほしい。「トリノメセン」はどこの場所か分からない時がある。説明テロップや地図があると分かりやすい。

(委員)

・視聴者からの番組に対するアンケートはとっているのか？

(事務局)

・今年の正月番組を作った際に、アンケートを実施したが、プレゼントがからむのでネガティブなことを書く人はいない。「げんきッズ」や「部活がんば」に関しては自分のところを取り上げてほしいなど、団体から意見をもらうことは多い。

(委員)

・災害情報を流してくれるのはありがたいが、大雪など具体的にどの地点が積もっているかなど分かりやすい情報があれば。  
・高校生の演劇番組も、その場所に中々行けないこともあり面白かった。  
・列車の車窓から見た景色を映すのも面白いが、地域のバスの利用者が少ないので、バス路線にからむような企画を考えてもらいたい。  
・倉吉に県立美術館ができるのでそれに絡めた企画もお願いしたい

(委員)

・「おじと語るシス」では、安来のおじのズーズー弁をすごく心配していたが、思ったより少なくてよかった。  
・神社を紹介する企画を。高齢化により地区住民が神社に参ることが少なくなっている。神社だけを取り上げるのが、都合が悪ければ、村の総代を呼んで状況を紹介してもらうなど、5分程度の番組を作ってはどうか。紹介してもらって住民に問題提起ができるような番組になれば面白いと思う。

(事務局)

・今ある姿を映像で残しておくのは大事な役割。すごくいいアイデアだと思う。

(委員)

・神社の由来、いつ頃にできて何の神様を祀っているのかの説明だけでも面白い。

(委員)

・この番組はどの世代を対象にして作っているのか明確にすることも必要。その辺りがバラバラになっている気がする。

(委員)

・タレントさんを使った番組は良いが、一人で頑張らせすぎている印象を受ける。もう一人誰かきちんと対応できる人がいないと、人だけしゃべらせるのは酷。もっと良い作り方があるような気がする。

以上